

幼児の実態

一人でいることを好み、昼食のときに席に座って、みんなと一緒に食事をとることを嫌がる。

☆手立て

- ・ 最初に他の園児の様子が見えないように段ボールで囲いをして食べた。



- ・ 段ボールの囲いは本児が好きなものの絵を貼っている。囲いには、窓がついており、事前に、壊れたら、囲いなしになることを本児と約束している。

- ・ 囲いの窓をどんどん大きく開けていき、他の園児が見えるようになってからも平気になった。



- ・ 徐々に慣れてきて段ボールの囲いがなくても、みんなと一緒に食事ができるようになった。

支援を受けてみて

- ・ 最初は、周囲の刺激を嫌がり、なかなか保育室で食べようとしなかった本児が、好きな絵の付いている段ボールの囲いがあれば納得して集団の中で食事ができるようになった。徐々に窓を大きく開けていき、慣らしていくことによって、囲いがなくてもみんなと一緒に食事ができるようになった。